



# 週報

2015～2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン  
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』  
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー  
第 2570 地区

## 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511  
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366  
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp  
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)  
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

### 第 1071 回( 2 月 2 日)例会の記録

点 鐘 江原伸夫会長  
合 唱 国歌斉唱 奉仕の理想  
第 2 副 S A A 野口君 沼崎君  
卓話講師 医療法人 尚寿会理事長  
大生病院院長 寶積 英彦様  
ビジター 米山奨学生 趙 恩 恵さん

#### ※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
36名	31名	85.29%	71.88%

#### 会長の時間

江原会長



こんにちは。

今日は医療法人尚寿会理事長、そして大生病院院長としてご活躍されている寶積英彦先生に外来卓話の時間をお願いしておりますので、私のお話しは短くさせていただくつもりでいます。先生、後ほどの卓話の時間を宜しく願いいたします。

先々週は大雪の日に新狭山ロータリークラブとの新春合同例会があり、足元のおぼつかない中お集まりいただきありがとうございました。また先週の例会は三芳町上富で廃材処理プラント、リサイクル製品製造会社の石坂産業への企業訪問をしてまいりましたが、近隣への配慮や自然に対しての保護育成などにも努めており、産廃業者への今

までの私のイメージが一新されました。会員の皆様には石坂産業の生産品の購入等、ご協力もいただきましてありがとうございました。またこの企画を計画していただいた佐々木職業奉仕委員長ありがとうございました。

さて今日の会長の時間は、皆様よくご存じの狭山市北入曾にある県指定史跡の『七曲井』についてお話しいたします。私が以前見学したときは期待ほどの史跡とは感じられず、立て看板に記されている文面を読んでもさして印象にも残りませんでした。しかし、昨年12月に家族同伴親睦旅行で見学した『秩父の夜祭り』や『さきたま古墳』のことを調べているうちに身近にあるものへの興味が出始め、再度『七曲井』のついて調べてみました。

・・・立て看板・・・

「飲料水を獲ることが困難な武蔵野台地では、堅掘り(たてぼり)井戸を掘る技術が発達する近世まで、漏斗状(ろうとじょう)に掘り下げて井戸を作りました。このような井戸の一つが七曲井(ななまがりのい)で、平安時代中頃に掘られたと考えられます。残された古文書から江戸時代まで使われていたことがわかっています。昭和45年に発掘調査が行われ復元されましたが、平成15年の調査で井戸内にあった石壁に崩落の危険性があることが明らかになりました。そのため、平成17・18年度に崩落防止工事を実施しました。こちらから見えるのは、工事により積み上げられた盛り土です。そのため本来の姿とは異なっています。また、道は復元してありますが、下部の回り道は湧水を

防ぐ目的で埋め立てたため、現在は見えなくなっています。反対側の見学スペースでは、本来の井戸の法面（のりめん）がご覧になれます。案内図の位置に移動してご覧ください。」

立て看板にこの文面があり隣に図面が掲示されているだけでしたので、もう少し付け足します。

立て看板では、この井戸がつくられたのは平安時代の中頃といわれていますが、いつ頃につくられたのか、誰が何のためにつくったのか、どのように使われたのかなど、正確なところは一切わかっていないそうです。井戸は巨大で開口部は直径18～26メートルのほぼ楕円形で、そこからすり鉢状に11メートル強掘り下げられており、底部直径が5メートル、実際に水をくむ井筒部は直径が3メートルあり、松材で井桁が組まれ、周囲が石で築き固められています。

北側に備え付けられた道は、上辺ではつづら折りの階段状になっていて、途中からぐるりと回りこむようにして井戸中央部へ向かうようになっており、どうやらこれが「七曲」という名前の由来のようです。またこの工法は降り井戸と呼ばれ、まっすぐに作井（さくせい※井戸を掘ること）する技術がなかった時代につくられたものと考えられています。

昭和45年の発掘調査・復元工事で、最後の大改修は宝暦9年（1759）となっています。少なくとも、江戸時代までは実際に使用されていたようです。また、この井戸の掘られた時期が全く不明かという、そうでもなく、意外な点に解明する手がかりがあったそうです。井戸の所在地が「北入曾字掘難井」にあることです。この「掘難井」は、現在は「ほりがたい」と呼ばれていますが、地元では古くから「ほりかねのい」と称していたようです。地盤がかたく、井戸を掘るのが困難だったことが、その名の由来になっていると考えられています。

そして、この「ほりかねのい」という言葉が我が国の文献に現れるのは、平安時代前期の女流歌人である伊勢の和歌集『伊勢集』で、[いかでかと思う心は掘りかねの井よりも猶ぞ深さまされる]の1首が詠まれてから以後で、清少納言の『枕草子』にも、[井は堀兼の井。走井は逢坂なるがをかしき。山の井。さしも浅きためしになりはじめけん。]と

あり、天下の名井の第一位に「ほりかねの井」を挙げています。しかし、これらの「ほりかねの井」は七曲井のみを示したのではなく、武蔵野台地に散在していた漏斗状の井戸全般を指し示すとされています。

また、延長5年（927）にまとめられた法典『延喜式』巻50雑式には、「諸国の駅路には果物の実る木を植え、旅人の休息の場を与えるとともに、飲み水のないところには井戸を掘りなさい」という意味の文がありますが、つまり『七曲井』は「ほりかねの井」の一種であり、『七曲井』の脇を通る道が古代は入間街道、中世は鎌倉街道の沿線にあったことから、遅くとも9世紀後半から10世紀前半にかけて、武蔵国府の命令により掘られた交易のための重要な公共の給水施設だったと考えることができるそうです。

普段車で行き来している街道沿いの、近隣の人も気に留めていないような古い井戸跡ですが、こうして調べてみると狭山市の貴重な財産の一つであると感じました。大切にしていきたいと思いましたのでお話しさせていただきました。

## 幹事報告

小島幹事

1. 第3グループIM登録について。
2. 3月5日(土)開催・RLIセミナーDL養成コース参加者の確認について
3. 国際ロータリー年次大会ソウル大会について
4. コーディネーターニュース 2016年2月号
5. ソウルで「第17回ロータリー国際囲碁大会」のご案内について
6. 訃報のお知らせについて
  - ・地区・パストガバナー、金子千侍様(享年87歳)
  - ・所沢RCパスト会長、平岩宗敏様(享年70歳)
7. 狭山青年会議所より、過日の新年会賀詞交歓会に際してのお礼状について
8. 石坂産業(株)よりお礼状
9. 新狭山RCより広告依頼について
10. 例会変更 新所沢RC 所沢西RC
11. 受贈会報 所沢RC 入間RC 飯能RC
  - 所沢中央RC 所沢西RC 入間南RC

### 米山奨学生

皆さんこんにちは。

学生時代も後2ヵ月となりました。私は本当にちゃんと仕事ができるか、最近凄く心配になっています。

最近の報告としては、今埼玉に住んでいるのですが、3月末に会社の寮に入ることになり、引越しの準備をしています。会社の寮は横浜のあざみ野という駅にあるのですが、会社からは大体45分くらいです。

今まで引越しをするときは荷物を全部自分で持っていったり、自分で送ったりしていたのですが、今回は会社が負担してくれるので初めて引越し屋さんを利用する事ができて、ドキドキしています。私はあまり知らなかったのですが、日本はこんなにも色々な引越し屋さんが多いのかということを知りました。もしお勧めの引越し屋さんがありましたら、教えて下さい。

最近卒業論文も無事に終わって、この間韓国に一度帰国し、親に私の卒業論文を渡し、喜んでくれました。あと2ヶ月間楽しみながら、頑張りたいと思います。

## 委員会報告

### 清水青少年奉仕委員長

先般柴田パスト会長よりお話があったかと思いますが、先ほど小島幹事より報告がありました通り、狭山リトルシニア野球協会へのボールと用具の寄贈の件が理事会で承認されまして、1月20日に事務局長の須田様にお会いし、段取りをつけました。今月13日1時から寄贈を行うということで、会長と幹事共々が出向いてお渡しすることになっておりますので、ご報告致します。

### 趙恩恵さん



## 「外来卓話」・・・・・・・・・・

…講師紹介…

江原伸夫会長

以前、当クラブに大変ご貢献頂きました克彦前理事長がお亡くなりになってから、ずっとお一人であれだけ大きな尚寿会の屋台骨を背負っていらっしゃいます。本当にいつも明るく、にこにこされていて、患者さんの評判も非常に宜しいようでして、私どもの薬局でも、理事長のお話をされていく患者さんが非常に多くいらっしゃいます。

実を言いますと、ロータリーにも先々ご入会頂けるといようなお話を頂いておりますが、まずは今お足下を固めて頂いてからゆっくりお考え頂き、私どものクラブに参加して頂ければ幸いです。感じておりますし、また先生にもそのようなお話はさせて頂いているところでございます。

今日はリハビリテーションのお話ということで、これから私たちの一番大切になる、お話をさせて頂けるかと思っております。私も、皆様も楽しみにしておりますので、先生宜しくお願い致します。

### 医療法人尚寿会理事長 大生病院院長 寶積英彦様



医療法人尚寿会の寶積と申します。本日はお招き頂きまして、どうもありがとうございます。そして昨年、私の父である寶積克彦葬儀の際には、皆様に大変お世話になり感謝しております。

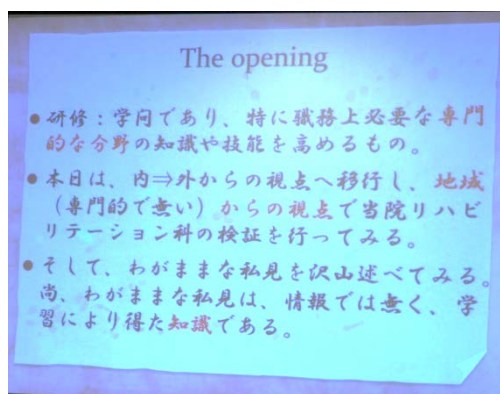
本日は、地域の方々がリハビリテーションに望むもの、そして私が望むものということで、短い時間ではありますけれどもお話をさせて頂きたいと思っております。



今日のスライドは、当法人のリハビリテーションのセラピスト、リハビリをするものが約 100 名おりますが、その 100 名のセラピストに、あなたたちはこうあるべきだ、あなたたちはこのように学習をしていくべきだ、こうした志を持ってステージに立ち、患者さんと正面で向き合いなさいということをセラピストに伝えるために作ったものです。一度だけ私がこの内容をセラピストに伝える、いわゆる教育用の資料ですので、皆様にご理解頂きたいのは、当法人ではリハビリテーションを行うセラピストにこのようにして教育をしています、そのようなニュアンスを少し掴んで頂ければと思います。

タイトルは、地域の方々がりハビリテーションに望むもの、当法人のセラピストに望むものは何かということと、もう一つ、私個人がセラピストに何を望むかというメッセージを入れてあります。

まず始めに、これは一つの研修に使ったもので、当然のことですが、研修とは学問です。そして職業上仕事をする上で専門分野の知識を高めるものということで、研修とは何かというお話をしております。



次にはこの研修の目的ということなのですが、私は法人の理事長をしておりますが、今回のお話は中からセラピストのことは見ず、外から、要するに地域の方々の視点で、今あなたたちに何が必要かということをお話しますとセラピストに告げております。そしてこれからお話する内容の中には、私の我儘な私見というものが沢山入っているということを初めに強く言います。但し我儘な私見というものは、適当に私が作ってきたものではなく、情報ではなく、学習により得た知識であるということです。

情報というものは、メディアでも本でも講演でも、たくさんそうした所から得ることができるのです。しかし知識というものは、基本的に得た情報を如何に自分のものにしてアウトプットできるか、人に伝えることができるかというものが知識であると思います。私は皆さんにお話する前に 2 冊の書籍と 4 つのセミナーと 6 つの e ラーニングを受け、その上で皆さんにお話をする事、きちんと私も勉強をしたうえで皆さんにお話をしますということをお伝えしたいと思います。

まず始めに、そこにいた 100 人のセラピストに問うた質問があります。「あなたは良い人ですか」、「良いセラピストですか」という質問です。これは難しい質問かも知れませんが、その場には当然医師もおりましたので、同じ質問をしております。要するに技術が高ければ、人としてそんなに良くない人でも良いのか、それともとても優しい先生だけれども、そんなに知識がない先生が良いのか、人か技術かということをお話してみました。

どのようなプロセスの中で入っていくのが良いかといった中で、当然リハビリテーションには質が求められます。患者さんのニーズに対して応えていくのがセラピスト、それは当然なことなのですが、目的よりもプロセス満足というものに行ってしまうのが一番良くないというお話を致しました。3.

ある一つの疾患を治すに当たっては、きちんとしたエビデンスのある治療を患者さんに提供していかなければいけません。患者さんにも色々な方がたくさんいらっしゃいますが、その中でその日だけ満足して患者さんが帰るのがリハビリテーションではありません。その日に患者さんがしたいリ 3,4 ハビリだけさせて家に帰すということは、それは迎合リハビリテーションの入り口だということで、それは何を意味するかと言いますと、4 つ例を出しましたが、

- ① あの先生はいつも私の言う通りにしてくれてとても良い先生だ、では私の言う通りにしてくれるのが良い先生なのでしょうか。
- ② あの先生はちっとも私の言う通りにしてくれない、要するに患者さんの言うことを全て聞いてくれる先生が良い先生なのでしょうか。

③ あの先生はお願いしても全然検査をしてくれない、では検査をしない先生が悪い先生なのではないでしょうか。

④ あの先生は言えばすぐに検査をしてくれるそれではすぐに検査をしてくれる先生が良い先生なのではないでしょうか。

このようなことをきちんと問いなさい、ということが一番初めに記したことなのです。

リハビリテーションは医療であるので、その日だけ患者さんを満足させる迎合ではありません。患者さんのニーズに応じていくということは、まずきちんとした目的を作る、ゴールの設定をし、そのゴールをセラピストと患者さんのチームで、きちんと目的意識の共有を行いなさい、そしてその一つのゴールに行くために、患者さんと意見が違った場合には、患者さんと闘いなさいというお話をしました。

一番最後に記したものというのは、患者さんが好まないプロセス、こんなリハビリしたくない、痛いからしたくない、こうすると家に帰るとまた辛いと言われても、そこには最終的な目標があるのだということを中心に患者さんとディスカッションした上で、目的意識の共有をして下さい、あくまでも迎合といったリハビリにはしないで下さいというお話をしました。

目標設定をする上で、誤った目標設定をしてしまうといけないということで、いくつか例を出しました。

#### ・頑張っておうちに帰りましょう

私は〇と書きましたが、とても良いことだと思います。長い入院をし、一生懸命辛いリハビリをして、元気におうちに帰っていく、正に医療の理想像だと思いました。

#### ・おうちで頑張っているけど限界を迎えたら入院しましょう

これは少しおかしな話なのではないかということで、頑張って購入した家は頑張る試練の場ではなく安息の地です。基本的には自宅は安息の地であるということで、あくまでも耐えて耐えて、限界を迎えるのが家ではなく、家で頑張って頑張って限界を迎えたから入院をするということはおかしいと思います。

#### ・頑張って退院して社会復帰をしましょう

これもおかしいです。病院にいる時は社会にいなかったのでしょうか。病院というのは非常識がまかり通ってしまう所であるというニュアンスを私は持っておりますので、病院は非日常、非社会人の集まりなのかということですか、病院にいるときもきちんと社会にいるのだということ認識して患者さんに接しなさいということで、病院というのは特殊な所ではないのですという話を致しました。

#### ・機能改善

元気になって患者さんが家に帰るとなると、多くのセラピスト、医師、看護師が、元気にはなったけれどもその人が家に帰ると独居なのだと、周囲の方たちは大きな心配を致します。心配をすることは当然大切なことだと思いますが、一人を満喫したい独居の方もたくさんいらっしゃるのです。そのような所まで口出しをせず、きちんと個人の尊厳を尊重して退院させて欲しいという話を致しました。

一人の生活を満喫したいと言っている方に対して、色々な介護保険やサービスを家に入れてしまう、掃除のサービスを入れてしまう、食事を運ぶサービスを入れてしまう、それは間違っていると、個人のしたいような生活レベルにあげてあげるのがあなたたちの仕事だという話を致しました。

それでは患者さんは一体何を要求しているのかということですが、障害の改善は当然です。

例えば脳梗塞を起こして手が不自由になってしまった、足が不自由になってしまった、その機能を戻してあげると言うことは当然であり、それよりも患者さんが望むものは生活の再建なのだとすることをきちんと認識して欲しいと話しました。右の人差し指が動くようになる、中指が動くようになるといった問題ではなく、家に帰ってトイレに自分で入れるといったことがリハビリテーションの目的なのだとをお話しました。

究極の言い方をしてしまいますと、何が一番の目的か、患者さんが何を要求するのかということ、死にたくないということは当然誰もが持つ欲求ですが、それよりもなりたくないのは、寝たきりになりたくないのです。死にたくないという要

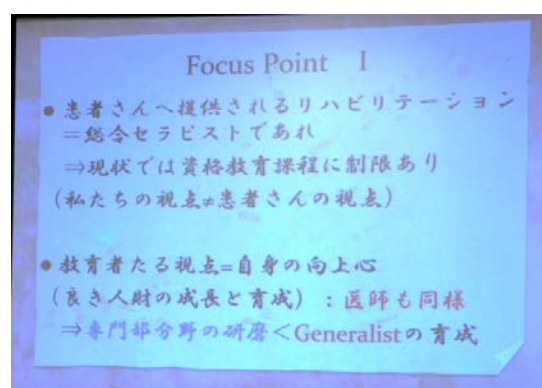
求には私も答えられませんが、寝たきりになりたくないというこの要求には、医師、セラピスト、看護、介護士を含めて、全員が協力していかなければなりません。今お話した患者さんの要求に応じていくために、あなたたちはもっともっと勉強が必要なのだと、それが技術であり、ヒューマンスキルであるというお話を致しました。

ではこのリハビリテーションを誰がするのかということですが、OTPTSTという言葉がありますが、理学療法士、作業療法士、言語療法士と、リハビリテーションとは色々なパーツパーツに分れております。しかし患者さんは、調子が悪いので理学療法お願いしますと病院には来ませんというお話をしました。何が必要とされているかということは、医学側にとっては常にジェネラリストが必要とされているというお話を致しました。医師もそうですが、多くの専門医制度ができ、循環器専門、消化器専門、脳神経専門と色々な医師がいるかもしれませんが、それは極論であり、最終的には全てが見られる医師、病気と一緒に患者さん自身を見られるセラピストになりなさいとお話し致しました。病院だからという観念は捨ててください、病院だからこんなのだという勝手なルールは作らないでくださいと、医療はもう生活に入り込んでいる時代です、医療に全く関わらずに生涯を終える人はいないということです。医療人＝地域人、医療人＝一般常識を持った人であるという自覚を持って働いてくださいということです。病院はこのようなルールですといった、あたかも医療が尊厳だけ持つような姿勢は決してやめてくださいということです。これは私が少し嫌味っぽくセラピストに書いたものですが、看護師、介護士も入院するときとうるさい患者になります、セラピストも入院するときと我儘な患者になります、医師は入院すると最悪な患者になりますといったことをセラピストにお話致しました。

ここに記した内容とは、先ほど私がお話したジェネラルセラピストのことです。患者さんは病院に、私はここが悪いから言語療法や理学療法をして下さいなどとは来ません。どんな職種もセラピストであって、教育課程は違うかもしれませんが、どんな患者さんでも見ることができるスキルを学

習しなければいけないということをお話致しました。当然自分の専門分野を勉強することは構いません。理学療法士が理学療法を勉強する、作業療法士が作業療法を勉強する、言語療法士が言語療法のスキルをあげる、これは当然のことと私は思います。ただし自分の知らない所を勉強して、きちんと患者さんの要求に応じていくことが大切だということです。

ではどのようにして勉強していくのが良いのか、そして先輩の優れたセラピストは、次世代に対してどのような教育をしていくことが理想的かというお話を、重ねてここからお話させていただきます。良い人材の成長と育成と書きましたが、これは医師も一緒です。専門分野の研磨とは当然のことで、私たちはそのために国家試験を受けてライセンスを持っているわけです。それ以上にジェネラリストの育成です。要するにスペシャリストではなく、万能に多くの範囲を見られるセラピストの育成ということです。技術だけではなく、患者さん本人も見ることができるということです。



先ほどの復習となりますが、良くしてあげたいという思いやり、これはどのセラピストも必ず持っているものです。ただし良くしてあげたいという思いやりをきちんと目的意識を持って患者さんと共有して行っているか、その日だけ患者さんを笑顔にして、その日だけ元気にして帰すセラピストになっていませんか、迎合リハビリになっていませんかということなのです。正しいゴール設定を患者さんと共有した後は、患者さんとゴールを目指すにあたって少し意見の相違が出たときにも、ゴールを再確認し、きちんと患者さんと闘えますか、それなりの強い意志をもってゴールを設定していますかということです。

指導は技術からではなく思いやりからだとありますが、自身が指導する者から学ぶ気持ちも必ず持って欲しいということも、記してあります。

後輩のセラピスト、新人のセラピストに対しては、当然法人に入った後に教育が必要です。ではどのように教育していくかといったときに、私は個性を見つけてあげられるかということを書いてあります。個性というものは非常に大切なことで、リハビリテーションに限らないと思うのですが、例えば物を聞いて覚えるという方に、まとめて紙を渡してもなかなか覚えることはできません。現場で実践をしていくことによって非常にスキルが伸びるセラピストに、現場の体験ではなく座学の勉強をさせてもそのセラピストは伸びません。教えてあげる個々が、どのようなタイプの個性を持っているのかということ、まずは指導する側がきちんと見極めなさい、そして適正に合わせた教育がされなければ、それは教える側のスキルが足りないのです、ということをお話しております。

教育の仕方ということをセラピストに教えるために、私が2つだけ例を出しました。このスライドに長男がおりますが、私の初めての子でしたので、この子にどういった教育をしてあげようかと思った時に、色々なことをどんどんと詰め込んであげれば色々な知識がつくのではないかと、直接私が色々な情報をこの子に山ほど教えてあげました。一緒に横について勉強を教えてあげました。当然情報を詰め込むだけではいけないので、先ほど情報と知識の違いというお話をさせて頂きましたが、きちんと情報が知識になるようにしたつもりです。ただし基本的には、この子のしたい、したくないに合わせずに、私が自我で詰め込んだ教育をこの子にしました。

結果何が起こったかといいますと、基本的にはこのような小学校、中学校に行かせてあげたいと思う所には、叶わずじまいになってしまったのです。要するに個人の適性というものをみないで教育をしてしまったために、その時はそういった現象がおきてしまいました。

下の息子がおりますが、長男で失敗をしてしまったので、今度は私も少し勉強をして作戦を変えてみました。最近の小さい子は色々なメディアに

も長けておりますので、情報は何でも良い、テレビを見ても良い、本を買っても良い、漫画を読んでも良い、スマホをいじっても良いと、情報収集は全部自分でさせました。そしてこの子にいつも、成功体験ばかり教えてあげたのです。何かが出来ると必ず良くできたねと、要するにハードルを越える楽しさだけを教育してあげたのです。物事の知識と情報の教育は何一つしませんでした。あとは反発心が強い子でしたので、反発心を煽るような教育をしてみたのです。あの子の方が足が速い、あの子の方がもっとこんなことができる、そうしたところだけつついてあげました。この子は一時的にですが、このような進路に進んでほしいというところに、見事に進んでいくわけです。良かったなと思いましたが、人生何が待ち受けているかわかりません。長男は先ほどお話した通り、なかなか思うような進路には進めませんでした。ただし時間が経って今年で中学3年生になります。そうすると知らないうちに、人に物事を強要しないタイプのリーダーシップがあることに私が気づきました。そのため、この子自身に多くの選択肢を与えてみたのです。例えばスマホが欲しい、何故使うのだという理由は問います。自分専用の部屋が欲しい、静かな所で勉強がしたいのだと、良いかなと思うものは全てこの子に与えてあげました。

その結果、例えば試験が上手くいかなかったとき、どうして上手くいかなかったのかという事を彼に問うと、彼の方からは試験前にいつもよりも多くスマホを使ってしまった、勉強の時間がスマホに割かれてしまったので、次回のテストまではスマホをお父さんに返しますといったように変化が起きてきたのです。

一過性に上手くいったように思った下の子はどうなったかといいますと、自分が特別な存在であるかのように認識をしてしまったおかげで、今は勉強もしない、土日はずっと朝から夕方までゴロゴロしてテレビとDVDを見ている、コントロール不能になってしまったということなのです。

少し冗談交じりの話を致しましたが、言わんとしたいことは、事例からの検証結果ということなのです。最良の教育、もちろんセラピストという視点からに戻させて頂きませんが、最良の教育というもの



は教育者の自我によるものではないということで、個人に合わせた教育方法をきちんと見つけてあげなければいけないということです。

個人は成長します。時として間違った方向、期待と異なった方向へ成長を遂げてしまう事、そんなことはしょっちゅうです。思い通りにはいきませんが、個人をきちんと見つめてあげるのであれば、要するに先輩のセラピストが後輩のセラピストをきちんと見つめてあげることができるのであれば、速やかに変化に気づき、教育側が変化すること、それが教育者の学習であるということです。個を教えるためには、個をきちんとみなさいと、そしてその個が変化しているときには、変化に鋭敏に反応し、そしてすぐに変わった方法に自分でチェンジをして指導方法を変える、これが教育側の学習ですというお話をしました。

なかなか風変りなお話で、ここにいる皆様にお話するようなレベルには至らないお話だったかもしれませんが、セラピストとはどういうものかということと、セラピストがセラピストを教育してく上では何が必要かということ、当法人では私の方から 100 名のセラピストにこのような形で教育をしているということ、皆様にご紹介させて頂きました。

学習と変化のない組織は淘汰されてしまうということを職員教育するために作成したものです。皆様にお話させて頂くには非常にレベルの低いものであったかもしれませんが、私のすべきことは、地域の皆様のために少しでも高いレベルの法人をつくること、職員を教育していくことですので、その一つを皆様にご紹介させて頂きました。



江原君 先週、先々週と皆様ありがとうございます。本日は医療法人尚寿会理事長そして大生病院院長であります、寶積先生に卓話の時間をお願いしております。先生お忙しい中ありがとうございます。宜しくお願い致します。

小島君 医療法人尚寿会理事長 寶積英彦先生ようこそお出でいただきました。お話し楽しみにしておりました。

浜野君 医療法人尚寿会理事長 寶積英彦様、米山奨学生趙恩恵さんようこそいらっしゃいました。本日の卓話楽しみにしています。宜しくお願い致します。

稲見君 医療法人尚寿会理事長 寶積英彦先生ようこそおいで下さいました、今日のお話し楽しみにしています。

片山君 大生病院院長寶積英彦先生 卓話楽しみにしていました。

益子君 医療法人尚寿会理事長 大生病院院長,寶積英彦様、外来卓話楽しみにしていました。宜しくお願い致します。

佐藤君 冷たい北風が吹くこの時期は、本当に身に沁みますね、皆様ご自愛ください。本日の外来卓話の医療法人尚寿会理事長 寶積英彦様本日の卓話宜しくお願い致します。

高田君 寶積英彦先生、本日はお忙しいところありがとうございます。卓話楽しみにしております。

若松君 寶積先生、本日の卓話楽しみにしていました。宜しくお願いします。

会員誕生祝 石川君 小室君 益子君 野口君 沼崎君

夫人誕生祝 栗原(憲)君 高田君 田中(隆)君

#### ※次の例会

2月16日(火) ⇒ 2月27日(土) 第3グループ IM に振替

入間産業文化センターに於いて

2月23日(火) ⇒ 家族同伴親睦日帰り旅行に振替